

授業科目名・形態	統合実習	実習	必修・選択の別	必修	
担当者氏名	佐藤純子・水木暢子他看護学科担当教員		開講期	4年前期	単位数 2

【授業の主題】

修得した看護管理の知識と技術を応用展開し、看護・保健・福祉の実践活動について広い視点で理解する。自ら選択した専門領域で看護チームに参加し、医療チームに関わる人々との協働のあり方を理解する。また看護チームに参加し複数の受け持ち患者の看護を通してチームアプローチを含む看護実践活動を展開し、今までの知識・技術の統合を図り、看護観を深めることを目的とする。

【到達目標】

実習目標

- 1) 看護チームの一員として複数の患者に対する適切なケアマネジメントを学ぶ。
- 2) 医療チームに関わる人々との協働を通してチームアプローチを学ぶ。
- 3) 専門的知識と確かな技術に基づいた安全な看護を提供でき、その看護を適性に評価できる看護実践能力を育成する。
- 4) 看護者としての社会性および倫理的感性を育成する。
- 5) 看護管理の実際を学び、修得した看護学の知識・技術を展開し看護実践活動を広い視点で理解する
- 6) 看護の役割機能を明確化し、看護における課題および自己の課題を明確にする。さらに看護観を発展させる力を育成する。

【授業計画・内容】

実習内容

- 1) 学生の関心・目指す専門性から実習領域を決める。
- 2) 実習指導者の指導下で複数の対象者の看護実践を行う。対象者の看護問題の優先度を判断し、看護実践を行う。またチームメンバーの一員として情報の共有を行なう。
- 3) 対象者への看護を通し、他職者との連携を体験する。
- 4) 看護管理の実際を学ぶ。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

これまでの講義及び演習、臨地実習で学んだことをもう一度振り返ってください。特に看護管理の知識について理解を深めておきましょう。

【教科書等】

これまでの看護学全般の授業でのテキストおよび資料

【成績評価方法】

出席状況および実習状況（50%）、記録およびレポート等（50%）の総合評価

【学生へのメッセージ】

この実習では、学生自らが自己の課題を明確にし、これまで学んできた看護学を総合的な視点で捉えなおします。実際に看護チームの一員として参加しながら学ぶことは、自己の看護観を高め、将来の看護専門職者としての活動に大きく役立つはずですよ。